

研究課題名： 「消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築（多施設共同 前向き観察研究）」

所属(診療科等)： 公立昭和病院 内視鏡科

研究責任者(職名)： 川口 淳 内視鏡センター長

研究期間： 2020年12月16日～2024年12月31日

研究目的と意義： 日本全国の消化器内視鏡検査および治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指しています。このような内視鏡関連手技の全国規模の情報集積は初めてのところみであり、患者側だけでなく、医療を提供する側にも大きな利益をもたらすものと考えています。この研究で集められたデータを分析することで以下のことを明らかにすることを目的としています。

- 内視鏡関連手技を行っている施設診療科の特徴
- 医療水準の評価
- 適正な消化器内視鏡専門医の配置、ならびに消化器内視鏡技師、看護師などのコメディカルの適正な配置
- 早期癌登録に対する精確な情報収集
- 内視鏡検査、治療を受けた方の予後
- 内視鏡検査・治療の医療経済的な情報収集
- これから内視鏡関連手技を受ける方の死亡・合併症の危険性、など

研究内容： ●対象となる患者さん  
2015年1月1日から2024年12月31日までの間に、当院において消化器内視鏡に係る診療を受けた患者を対象とする。

●利用するカルテ情報  
検査日、年齢、性別、ASA Grade、抗血栓薬（使用状況ならびに中止、置換の有無などの詳細）、喫煙歴ならびに喫煙の有無、飲酒歴および飲酒状況、悪性腫瘍家族歴、他臓器癌既往歴、ヘリコバクター・ピロリ感染状態、内視鏡検査の予定性、外来・入院、検査目的、治療目的、鎮痙剤使用状況、鎮静・鎮痛・麻酔に関する事項、内視鏡の挿入経路、使用スコープ情報、送気の種類、特殊観察法、観察範囲、手技開始・終了時間、手技中・手技後偶発症、30日以内の死亡の有無、実施医師名、副実施医師名、内視鏡看護師・技師名、腹部手術歴、生涯大腸内視鏡歴、造影範囲、挿管、胆管・膵管径、ERCP難度、胆管へのアプローチ方法、萎縮度など

●利用する研究機関の範囲  
公立昭和病院、日本消化器内視鏡学会 Japan Endoscopy Database(JED)Project

問い合わせ先： 【研究担当者】  
氏名：川口 淳（内視鏡科）  
住所：小平市花小金井8丁目1番1号  
電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912  
【ご意見・相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）  
総務課 042（461）0052 内線 2247  
受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）